

電気電子工学科（昼間主コース）2016年入学学生の履修年次と開講科目

学年	1年		2年		3年		4年		単位数		
学期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門基礎	微分積分学 STI 物理学 I 物理学実験 *1	微分積分学 STII 化学入門 I 化学実験							10		
基幹領域	大学英語	英語講読演習中級	英語プレゼンテーション演習中級						8	12	
	外国語*2										2
健康運動系	健康・スポーツ科学, 運動・スポーツ科学演習									2	
人文・社会・総合等	人文系科目(2単位以上), 社会系科目(2単位以上), 自然系科目(2単位以上), 総合科目・琉大特色科目(2単位以上)									14	
専門 必修科目	電気数学 I	応用力学 電気数学 II 電磁気学 I 回路理論 I プログラミング演習	電気数学 III 電気数学 IV 電磁気学 II 電磁気学 III 回路理論 II 電気電子計測工学 I	電磁気学 IV 回路理論 III 回路理論 IV 電子回路 I 電気基礎実験	電気電子システム工学 実験 I 技術者の倫理	電気電子システム工学 実験 II	電力工学実験, 電子・システム工学実験 (選択必修: 1科目必修) 卒業研究 セミナー		48		
専門 選択 科目	学科共通	電気電子工学概論 I 基礎数学	電気電子工学概論 II	情報数学 確率及び統計	電子計算機 I プログラミング応用 △電気電子計測工学 II	機械工学概論 特別講義 I ~ VI (集中講義・長期休暇中)		△数値解析	6	33	
	電磁 エネルギー				電気機器 I	エネルギー変換工学 電気法規及び施設管理 電力工学 I 電気電子材料 □電気機器設計製図	パワーエレクトロニクス 電気機器 II 電気応用工学 □電力系統工学	△電力工学 II	4		
	電子物性				電子デバイス工学 I	電子物性工学 I 量子力学 I 電子回路 II 電子デバイス工学 II	量子力学 II 電子回路 III 電子物性工学 II 電子デバイス材料工学		4		
	電子 システム				情報理論	電磁波工学 制御工学 通信工学 I □デジタル信号処理	電気通信関係法規	△電子計算機 II △システム工学	△通信工学 II △ Introduction to Biomedical Engineering		4
	工学部共通			情報産業論, 科学技術史, 安全工学, 品質管理, 工業所有権法, 経営工学概論, 産業社会学原論 I, II, 総合演習 C							
自由科目 実習科目 その他					企業研修・企業実習		職業指導				
					現業実習 I, II (長期休暇中)						
必修計	13	17	14	9.5	3.5	1.5	5.5	4	68		
選択等計*3	6	3	6	10	16	16			57		
計	19	20	20	19.5	19.5	17.5	5.5	4	125		

隔年開講科目の開講時期 (△奇数年開講, □偶数年開講) はあくまでも現在の予定である。実際に履修する際に時間割配当表, 掲示等で開講時期を確認すること。

*1 物理学実験を前学期に履修しなかった学生は後学期に履修すること。

*2 英語以外の外国語を履修する場合は 1 言語あたり 4 単位以上を履修しなければならない。履修単位数が 4 単位に満たない言語は卒業要件の単位には含めない。

*3 選択等計の数値には選択科目、自由科目および必修でない共通教育等科目などが含まれる。この数値は目安である。履修状況や各学期の開講科目に応じて調整すること。

別表（第4条関係）

電気電子工学科（昼間主コース）

①講座別授業科目分類

講座名	科目番号	授業科目	単位数	講座名	科目番号	授業科目	単位数	
工学部 共通科目	工 001	職業指導	2	学 科 共 通	電 414	卒業研究	6	
	" 005	総合演習C	2		" 415	セミナー	2	
	" 220	情報産業論	2		" 416	特別講義Ⅰ	2	
	" 300	科学技術史	2		" 417	特別講義Ⅱ	2	
	" 301	安全工学	2		" 418	特別講義Ⅲ	2	
	" 302	品質管理	2		" 419	特別講義Ⅳ	2	
	" 303	工業所有権法論	2		" 420	特別講義Ⅴ	2	
	" 306	経営工学概論	2		" 421	特別講義Ⅵ	2	
	" 310	産業社会学原論Ⅰ	2					
	" 311	産業社会学原論Ⅱ	2					
	" 320	企業研修	2					
	" 321	企業実習	2					
	" 501	Frontiers of Engineering	2					
学 科 共 通	電 100	電気電子工学概論Ⅰ	2	電 磁 エ ネ ル ギ ー 工 学	電 221	電気機器Ⅰ	2	
	" 102	プログラミング演習	2		" 321	電気機器Ⅱ	2	
	" 103	電磁気学Ⅰ	2		" 322	電力工学Ⅰ	2	
	" 105	回路理論Ⅰ	2		" 323	電力工学Ⅱ	2	
	" 106	応用力学	2		" 325	電気電子材料	2	
	" 108	電気数学Ⅰ	2		" 327	パワーエレクトロニクス	2	
	" 109	電気数学Ⅱ	2		" 328	エネルギー変換工学	2	
	" 110	基礎数学	1		" 329	電気応用工学	2	
	" 111	電気電子工学概論Ⅱ	1		" 330	電力系統工学	2	
	" 200	確率及び統計	2		" 422	電気機器設計製図	2	
	" 201	電気電子計測工学Ⅰ	2		" 424	電気法規及び施設管理	1	
	" 202	電気電子計測工学Ⅱ	2					
	" 203	電磁気学Ⅱ	2		電 子 物 性 工 学	電 233	電子デバイス工学Ⅰ	2
	" 204	電磁気学Ⅲ	2			" 331	電子物性工学Ⅰ	2
	" 205	回路理論Ⅱ	2			" 332	電子物性工学Ⅱ	2
	" 206	回路理論Ⅲ	2	" 333		電子デバイス工学Ⅱ	2	
	" 207	回路理論Ⅳ	2	" 334		電子回路Ⅱ	2	
	" 209	電気数学Ⅲ	2	" 335		電子回路Ⅲ	2	
	" 210	電気数学Ⅳ	2	" 336		量子力学Ⅰ	2	
	" 211	電気基礎実験	1.5	" 337		量子力学Ⅱ	2	
	" 212	情報数学	2	" 338		電子デバイス材料工学	2	
	" 214	電子計算機Ⅰ	2					
	" 215	電磁気学Ⅳ	2	電 子 シ ス テ ム 工 学	電 241	情報理論	2	
	" 216	現業実習Ⅰ	1		" 314	電子計算機Ⅱ	2	
	" 234	電子回路Ⅰ	2		" 341	デジタル信号処理	2	
	" 300	技術者の倫理	2		" 344	電磁波工学	2	
	" 301	数値解析	2		" 346	通信工学Ⅰ	2	
	" 302	プログラミング応用	2		" 440	制御工学	2	
	" 310	機械工学概論	2		" 441	電気通信関係法規	2	
	" 311	電気電子システム工学実験Ⅰ	1.5		" 442	システム工学	2	
	" 312	電気電子システム工学実験Ⅱ	1.5		" 443	Introduction to Biomedical Engineering	2	
	" 316	現業実習Ⅱ	1		" 446	通信工学Ⅱ	2	
	" 411	電力工学実験	1.5					
" 409	電子・システム工学実験	1.5						

別表（第4条の2関係）

②教育課程

分類	科目番号	授業科目名	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容	備考
工学部 提供 選択 科目	工 001	職業指導	2	2-0	3・4	前又は後	職業教育・産業教育の基礎	自由科目
	" 005	総合演習 C	2	2-0	3・4	前又は後	電気電子工学に係わる様々な課題の調査・検討・解決方法などの討論を通して指導方法や指導技術の習得	
	" 220	情報産業論	2	2-0	2	後	産官学の講師による最先端のIT研究, e・ビジネス, 情報と感性(人間工学), IT製品開発の実例等の講義を通じて, IT技術の最新動向や製品開発に必要な基礎知識と開発プロセスなどを習得	
	" 300	科学技術史	2	2-0	3・4	前	工学に関わる諸々の技術の発展と社会との関係	
	" 301	安全工学	2	2-0	3・4	前又は後	安全工学の定義, 災害の種類と相互関係, 産業災害の損失, 災害防止と企業計画, 労働災害, 異常診断機能, 欠陥関連樹法, 事故事例	
	" 302	品質管理	2	2-0	3・4	前又は後	品質管理理論, 統計的処理技法, 信頼性管理	
	" 303	工業所有権法	2	2-0	3・4	前又は後	工業所有権概説, 特許制度の起源と目的, 主要国の特許法, 発明の定義と特許条件, 出願手続, 特許権の性質と効力, 存続期間, 侵害対策, 特許訴訟	
	" 306	経営工学概論	2	2-0	3・4	前又は後	経営工学と管理事務, 生産管理とIE技法, 工程管理と工程分析, 在庫管理と品質管理, FA化技術, システムの信頼性と性能評価	
	" 310	産業社会学原論 I	2	2-0	3・4	前又は後	歴史性, 社会性のある技術者を養成するため, 学内外の専門家が芸術論・企業経営論等をその人生観, 文明論を含めて多面的に講述し, ケース学習を通じて社会的存在としての技術者像を探究させる	
" 311	産業社会学原論 II	2	2-0	3・4	前又は後	IT や農業および環境関連の先駆的起業家の講話を通じて, 企業の社会的役割を修得する		
" 501	Frontiers of Engineering	2	2-0	1~4	後	英語により, 様々な工学分野の最近の研究内容等を解説し, 探究させる		
実習 科目	工 320	企業研修	2		3	前	情報産業論の履修者を対象に, 実際に企業で行われている実務プロジェクトに参加し, 各専門分野の立場からプログラミング技術などを修得するとともに, 社会人としてのマナーや責任感を学ぶ	工学部提供
	" 321	企業実習	2		3	前	情報産業論, 企業研修の履修によって得られた経験をもとに, 夏期休暇中に協力企業において実際の業務に就き, 即戦力としてのスキルを身につける	工学部提供
	電 216 " 316	現業実習 I 現業実習 II	1 1		2~4 2~4	前・後 前・後	各実習先における実習 各実習先における実習	学科提供 学科提供
学 科 提 供 必 修 科 目	" 102	プログラミング演習	2	1-2	1	後	基本的データ構造と対応するアルゴリズムの学習を, プログラミング演習を通して行う(プログラミング言語はC)	
	" 103	電磁気学 I	2	1-2	1	後	真空中の静電界(ガウスの法則), 電位と電界の解析(ラプラス方程式, ポアソン方程式)	
	" 105	回路理論 I	2	1-2	1	後	直流回路, 正弦波交流回路, 回路素子, 正弦波電圧・電流及び電力のベクトル表示, 交流回路の複素計算法	
	" 106	応用力学	2	2-0	1	後	ベクトル解析と力学および電磁気学への応用	
	" 108	電気数学 I	2	2-0	1	前	行列, 連立一次方程式, 行列式, ベクトル, 固有値	
	" 109	電気数学 II	2	2-0	1	後	常微分方程式, ベキ級数法, ラプラス変換	
	" 201	電気電子計測工学 I	2	2-0	2	前	測定方式, 測定値の処理, 電圧・電流・電力及び回路素子の特性測定法	
	" 203	電磁気学 II	2	1-2	2	前	導体系, キャパシタンス, 誘電体中の電界, 定常電流(オームの法則)	
	" 204 " 205	電磁気学 III 回路理論 II	2 2	1-2 1-2	2 2	前 前	静磁界, 定常電流と磁界(アンペールの法則), ローレンツ力, 磁性体 線形回路網における回路の方程式等の基礎的事項, 一端子対回路網, 二端子対回路網	

分類	科目番号	授業科目名	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容	備考
学 科 提 供 必 修 科 目	電 206	回路理論Ⅲ	2	1-2	2	後	過渡現象, 非正弦波交流回路 三相交流回路, 分布定数回路 フーリエ級数, フーリエ積分及び変換, 偏微分方程式 複素関数論 誤差解析と最小二乗法, 電圧・電流計, 単相・三相交流量の測定, 磁気測定, CR 回路の過渡応答と数値解析, RLC回路, ダイオード, トランジスタの諸特性測 定, 直流電動機の特長, 測定機器の使用 法試験 電磁誘導 (ファラデーの法則), インダク タンス, マクスウェル方程式, 電磁波 電子回路の基礎, 増幅回路の基礎, 小 信号増幅回路, 負帰還増幅回路, 演算 増幅器 (トランジスタ回路), 発振回路 日本及び外国の技術者協会等の倫理規 程・綱領とその背景, 科学技術の発達 の歴史と社会及び自然に及ぼす影響と 効果, 技術者の実務のあり方, 専門職と しての責務と範囲, 知的所有権法と企 業倫理, 製造物責任, 事例研究 (構造 物破損事故, 作業中の過失, 心身障害 発生例等) 単相変圧器の三相結線, 誘導電動機, DC-DC コンバータ, デジタル回路, 薄膜の電気抵抗, 発振回路, アクティブ フィルタ, ホール効果, 増幅回路 発光ダイオード, 熱電効果, AD-DA 変 換, モデルコンピュータ, デジタル フィルタ, 直流電動機, エンジニアリ ングデザイン 個人又はグループによる企画, 調 査, 研究 電気, 電子, システム, 情報工学関係 の論文講読及び討論	
	" 207	回路理論Ⅳ	2	1-2	2	後		
	" 209	電気数学Ⅲ	2	2-0	2	前		
	" 210	電気数学Ⅳ	2	2-0	2	前		
	" 211	電気基礎実 験	1.5	0-4.5	2	後		
	" 215	電磁気学Ⅳ	2	1-2	2	後		
	" 234	電子回路Ⅰ	2	2-0	2	後		
	" 300	技術者の倫理	2	2-0	3	前		
	" 311	電気電子システム工学実験Ⅰ	1.5	0-4.5	3	前		
	" 312	電気電子システム工学実験Ⅱ	1.5	0-4.5	3	後		
" 414	卒業研究	6	0-9	4	通年			
" 415	セミナー	2	0-2	4	通年			
必 修 科 目 選 択	" 411	電力工学実験	1.5	0-4.5	4	前	シンクロ電機 (セルシン) とシンクロサーボ 機構の特性, 低気圧での放電, 並列インバー タ, モータ制御, シーケンス制御, 三相同期 電動機, 三相同期発電機, 絶縁破壊 マイクロ波, CMOS 論理回路, 直流定電 圧回路, pn 接合作製, 移動ロボット	2科目中 1科目選 択
	" 409	電子・システム工学実験	1.5	0-4.5	4	前		
同 ・ 選 択 科 目	" 100	電気電子工学概論Ⅰ	2	2-0	1	前	前半は電気電子工学の概要について学 ぶとともに, 必要となる学習技法や卒 業後の進路について学ぶ。後半は研究 室での体験型授業ならびにグループに より課題調査を行いプレゼンテーショ ンを行う 微分積分学 ST の演習 前半は電気電子工作で使われる部品や基 礎的な回路について学び, 後半はグルー プ毎に課題製作を行いプレゼンテーショ ンを行う 確率変数, 分布, 期待値, 統計的手法 における確率論の応用 周波数測定, 磁気測定, 波形測定, 光 計測および計測応用 群論, 束と関係, 一階述語論理, 代数, グラフ理論, 整数論, ベトリネット, オートマン, 形式言語 束と関係, データ表現と演算, ブール代数, 論理式の簡約化, 組合せ論理回路, 順 序回路 電気・機械エネルギー変換の基礎, 直 流機および変圧器の原理・構造・特性, 制御 真空中の電子現象, 半導体の基礎, pn 接合ダイオード, バイポーラトランジ スタ, 電界効果トランジスタ 集合と確率, 情報量とエントロピー, 情報源のモデル, 通信路容量, 高効率 符号化, 誤り訂正符号	隔年開講
	" 110	基礎数学	1	0-2	1	前		
	" 111	電気電子工学概論Ⅱ	1	0-2	1	後		
	" 200	確率及び統計	2	2-0	2	前		
	" 202	電気電子計測工学Ⅱ	2	2-0	2・3	後		
	" 212	情報数学	2	2-0	2	前		
	" 214	電子計算機Ⅰ	2	2-0	2	後		
	" 221	電気機器Ⅰ	2	2-0	2	後		
	" 233	電子デバイス工学Ⅰ	2	2-0	2	後		
" 241	情報理論	2	2-0	2	後			

分類	科目番号	授業科目名	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容	備考
学	電 301	数 値 解 析	2	2-0	3・4	後	方程式の根, 連立1次方程式, 補間法, 関数の近似, 数値積分, 常微分方程式, 偏微分方程式, 固有値問題	隔年開講
	" 302	プログラミング応用	2	2-0	3	後	リスト, スタック, キュー, 木構造等のデータ構造と種々の探索, 整列アルゴリズム (プログラミング言語はC)	
科	" 310	機 械 工 学 概 論	2	2-0	3	前	機械工学に関する概説	
	" 314	電 子 計 算 機 II	2	2-0	3・4	前	コンピュータの基本回路と基本装置, コンピュータの構成と制御方式, コンピュータアーキテクチャー, ニューパラダイムコンピュータ	隔年開講
提	" 321	電 気 機 器 II	2	2-0	3	後	同期機, 誘導機, 整流子機の原理・構造・特性, 制御	
	" 322	電 力 工 学 I	2	2-0	3	前	電力伝送の理論及び技術, 安定度, 送配電線路の保護方式	
供	" 323	電 力 工 学 II	2	2-0	3・4	後	コロナ, グロー, アーク放電などのプラズマ物理学の基礎, 気体, 液体, 固体の絶縁破壊, 高電圧の応用, 変電技術および変電設備	隔年開講
	" 325	電 気 電 子 材 料	2	2-0	3	前	結晶構造, 欠陥, 結晶組織, 合金, 状態図, 導電材料, 抵抗材料, 誘電・絶縁材料, 磁性材料	
選	" 327	パワーエレクトロニクス	2	2-0	3	後	電力用半導体素子, 整流回路, DC チョップ回路, インバータ, サイクロコンバータ, 電気機器制御への応用	
	" 328	エネルギー変換工学	2	2-0	3	前	エネルギー一般論, 電気-機械エネルギー変換の基礎, 水力, 火力, 原子力発電, 太陽光・風力発電	
目	" 329	電 気 応 用 工 学	2	2-0	3	後	電気照明, 電熱の原理と応用, 静電気応用	
	" 330	電 力 系 統 工 学	2	2-0	3・4	後	電力系統の運用, 計画, 電力潮流計算, 電力系統の制御, 経済運用, 電力系統の状態推定	隔年開講
科	" 331	電 子 物 性 工 学 I	2	2-0	3	前	量子論の基礎, 気体の分子運動, 原子を結びつける力, 結晶の構造	
	" 332	電 子 物 性 工 学 II	2	2-0	3	後	格子振動による比熱, 格子原子の熱振動, 金属の自由電子論, 固体内電子のエネルギー, 物質の光学的性質, 誘電体	
目	" 333	電子デバイス工学II	2	2-0	3	前	半導体の光物性, 光デバイス, マイクロ波デバイス, 集積回路プロセス	
	" 334	電 子 回 路 II	2	2-0	3	前	波形操作回路, パルス波発生回路, トランジスタとデジタル回路, デジタル回路の応用(シュミット回路, 比較回路, 計数回路), AD/DA 変換回路	
目	" 335	電 子 回 路 III	2	2-0	3	後	電圧制御発振回路, 変復調回路, 多段増幅回路, 集積基本電子回路, 安定化電源回路	
	" 336	量 子 力 学 I	2	2-0	3	前	古典力学の限界と量子力学の誕生, 量子力学の基礎, 自由粒子, 井戸型ポテンシャルと量子井戸, トンネル効果	
目	" 337	量 子 力 学 II	2	2-0	3	後	調和振動子, 水素原子モデルとその応用, 摂動論, 時間に依存する摂動論, レーザの原理と半導体レーザの基礎, 量子効果デバイス	
	" 338	電子デバイス材料工学	2	2-0	3	後	電子デバイス用無機および有機材料とその応用	
目	" 341	デジタル信号処理	2	2-0	3・4	前	離散時間信号, 離散フーリエ変換(DFT), Z変換, デジタル・フィルターの基礎, FIR フィルターの設計, IIR フィルターの設計	隔年開講
	" 344	電 磁 波 工 学	2	2-0	3	前	電波工学の基礎, 電磁波と放射, アンテナ, 電波伝搬, 導波管, 空洞共振器, マイクロ波回路素子	
目	" 346	通 信 工 学 I	2	2-0	3	前	有線通信, 無線通信, 放送, 通信システム, 通信方式, 無線機器, デジタル通信	

分類	科目番号	授業科目名	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容	備考
学 科 提 供 ・ 選 択 科 目	電 416	特別講義 I	2	2-0	3・4	前又は後	電気電子工学の各分野における学外の権威者がその専門とする領域を講義する	
	" 417	特別講義 II	2	2-0	3・4	前又は後	"	
	" 418	特別講義 III	2	2-0	3・4	前又は後	"	
	" 419	特別講義 IV	2	2-0	3・4	前又は後	"	
	" 420	特別講義 V	2	2-0	3・4	前又は後	"	
	" 421	特別講義 VI	2	2-0	3・4	前又は後	"	
	" 422	電気機器設計製図	2	2-0	3・4	前	電気機器設計法の基礎、直流機、変圧器、交流機の設計及び製図、発電所等の接続・配線図	隔年開講
	" 424	電気法規及び施設管理	1	1-0	3・4	前	電気法規の沿革、電気事業法、電気設備技術基準、施設管理及び運用	
	" 440	制御工学	2	2-0	3	前	伝達関数、ブロック線図、過渡応答法、周波数応答法、安定判別、安定度、定常偏差、制御系の設計	
	" 441	電気通信関係法規	2	2-0	3	後	電気通信事業法、有線通信法、電波法及びこれらに基づく命令、国際通信条約	
	" 442	システム工学	2	2-0	3・4	前	状態方程式、安定性、可制御性、可観測性、状態フィードバック、状態観測器、最適制御	隔年開講
	" 443	Introduction to Biomedical Engineering	2	2-0	3・4	後	Short history of biomedical engineering, bioinstrumentation, biomedical sensors, assistive technology, communication technology, presentation	隔年開講
" 446	通信工学 II	2	2-0	3・4	後	交換方式、各種通信網、データ伝送、コンピュータネットワーク、マルチメディア通信、通信セキュリティ	隔年開講	

③卒業の要件（電気電子工学科昼間主コース）

1. 共通教育

教養領域

健康運動系科目 2単位以上

人文系科目 2単位以上

社会系科目 2単位以上

自然系科目 2単位以上

総合領域

..... 14単位以上

総合科目

琉大特色科目

2単位以上

(人文、社会、総合、琉大特色科目
で合計12単位以上)

基幹領域

情報関係科目 2単位

(日本語表現法入門を履修しなければならない。情報科学演習は卒業単位として認めない。)

外国語科目

英語 8単位以上

(大学英语、英語講読演習中級、

英語プレゼンテーション演習中級を含む)

英語以外の外国語

12単位以上

2. 専門基礎教育

専門基礎科目 10単位以上

(微分積分学ST I, 同II, 物理学 I, 物理学実験, 化学入門 I, 化学実験を履修しなければならない。)

3. 専門教育

専門科目

必修及び選択必修 48単位

選 択

電磁エネルギー工学科目 4単位以上

電子物性工学科目 4単位以上

電子システム工学科目 4単位以上

学科共通科目 6単位以上

33単位以上

..... 37単位以上

工学部共通科目

自由科目、実習科目

合計 125単位以上

注1) 専門基礎科目の微分積分学入門 I, 同IIと物理学入門 I の履修に際しては、事前に指導教員の指導を受けること。ただし、これら科目は卒業要件の単位には含まない。

注2) 情報科学演習の履修に際しては事前に指導教員の指導を受けること。ただし、卒業要件の単位には含まない。

注3) 英語以外の外国語を履修する場合は1言語あたり4単位以上を履修しなければならない。履修単位数が4単位に満たない言語は卒業要件の単位には含まない。

注4) 電気電子工学科夜間主コースの科目を履修することは認めない。

注5) 自由科目とは、他学科又は他学部の提供する専門科目のことであり、共通教育、専門基礎科目は含まない。ただし、自由科目中の類似科目は、卒業要件の単位には含まない。

注6) 電気事業法の規程に基づく主任技術者の資格基準については、指導教員に問い合わせること。

注7) 外国人学生には琉球大学共通教育等履修規程第8条により次の特例を認める。

(1) 共通教育の人文、社会、総合、琉大特色科目のうち4単位まで、日本事情科目で読み替えることができる。

(2) 英語以外のひとつの外国語科目(4単位)を日本語科目で読み替えることができる。

注8) 職業指導は自由科目とする。

注9) 共通教育・総合領域の科目の中には卒業要件の単位に含めないものがあるので、履修に当たっては指導教員の指導を受けること。

注10) 現業実習、企業研修、企業実習等は合計4単位まで卒業要件の単位に含める。

教員免許状(工業)の取得について・・・398ページ参照